



♪グーフォ祭では音楽クラブの活動やフラダンスの活動を披露しました。

明けましておめでとうございませう。今年も皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。そして四周年をお迎えします事のお喜びを申し上げます。

去年の暮れに突然、施設長さんからお電話がありまして、このグーフォ機関紙の原稿を書く様にとのご用命でありました。

私はない知恵を絞り出して考えました。その結果、何故、私が社会福祉法人河内四つ葉会の理事になったのかをお話したいと思いましたが、それは今から十五年前に遡ります。福祉事務所所に運良く職場を得た私は河内町担当の相談員として生懸命にお母さんたちのお話を聞かせて頂いておりました。そんな折、現在の濱理事長さんが私のいる福祉事務所にお越しになりました。濱さんは以前の「あゆみの家」作業所をさらに大きく授産施設にしたい旨のお話でした。私は濱さんの意志の強さとバイタリティーに感動し協力する気持ちを強くしました。

濱さんはその後も着々と行動を起し、現在の「グーフォ・かわち」に仕立て上げたのです。その様な縁で私も理事の末席を汚させて頂くことになりました。

今後とも、どうぞよろしくお祈り致します。施設で働く皆様の健康と充実をお祈り申し上げます。

四周年を迎えたグーフォ・かわち

社会福祉法人河内四つ葉会
理事 柳川 外美枝

グーフォおだより



編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
栃木県宇都宮市
中岡本町3178-3
TEL 028(673)0002
FAX 028(671)0785

「本人支援」を忘れずに

社会福祉法人河内四つ葉会グーフォ・かわち
施設長 峰 寛子

明けましておめでとうございませう。昨年からの新型インフルエンザの猛威にも負ける事なく、ご家庭の協力を得て、皆元気に新年を迎えることができました。

昨年も又関係各機関、団体、ボランティア、保護者の皆様、多くの方々のご支援とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。又、現場スタッフの取り組みに感謝します。

第二回グーフォ祭も成功に終わり、地域の方々と共に楽しい一日を過ごすことができました。

昨年は三年目の一人一人の支援の見直しを行う中で、利用者さん一人一人の成長、ふりと課題を本人を交え、保護者の方々と確認してまいりました。皆が明るく元気に通っている事が何よりですが、利用者さんそれぞれに作業技術の向上と巾の広がりを目指し、成長しています。結果作業能率が良くなり、生産量が増えましたし、職員の残業時間も減ってきました。又、皆の力を発揮すべく毎日の作業分担、配置の工夫、新しい作業への挑戦の場の設定等配慮しながらの支援。販売においては販売先の見直しも行い、新しい販売先を獲得しました。各イベントへの積極参加、「わくわくショップ」参入での好評販売、八月から保護者の協力を得て「オリジナルTシャツプリント」も導入し、好スタートを切りました。

全体の総売上は昨年度の十一月時点と比べると約三〇パーセント、純利益は三パーセントほどの増となり、数字にもその結果が現われ、年末のボーナスは皆の満足するものとなりました。生産活動として、少しずつ力をつけてきた様に思います。「工賃倍増」の声に踊らされることなく、今後も生産性と「支援」のバランスが崩れぬよう取り組んでいきたいと思っております。

障害者自立支援法は道半端にして民主党政権下で「廃止」になりました。新たに「障がい者総合福祉法」を制定すると思われていますが、今後ますます混沌とした状況が続くと思われ、私たちが変わらぬ、「利用者一人一人の最適な自立」を目指して、「本人支援」を大切に取組んでまいります。

今後とも皆様の「ご理解とご支援」をよろしくお願い申し上げます。

グーフォ・かわち 保護者会より

平成二十一年を振り返って
グーフォ・かわち保護者会
会長 野口 正

新年明けましておめでとうございませう。日頃、職員の皆様、そして保護者会会員の皆様、保護者会運営に関し、「ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、二十一年七月にアンケート実態調査をお願いして皆さんの「生の声」を纏めることが出来ました。主に問いの内容は、現在困っていること、将来困ること、要望、依頼事項、その他と言ったことなど二十五項目に渡って答えていただきました。

調査結果については、逐次報告して行きたいと考えております。また、事業計画立案にも活用させていただきます。

調査結果を部抜粋して紹介すると、アンケート回収と活動順位については、回収率は九一・四%、活動順位については、①障害者福祉サービス、居住支援サービスについての勉強会、②保護者、事業所が実施計画について検討、③同業他社(他所)の施設や設備等について見学、④社会福祉施設整備について勉強、⑤資金作りについて検討、⑥その他の順になっております。二十一年度より、施設の協力を得ながら、前向きに取り組み実行していきたいと考えております。尚、アンケートの集計結果の抜粋を挙げておきましたので、参照ください。

また十二月には、第二十八回河内ふるさと産業まつりにバザーを出店しました。農産物、日用品等を寄贈して頂いた皆さん、そして値段付けから販売に至るまでの準備作業に協力くださった職員、保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

初めての経験でしたが、様々なことが習得でき、大きな収穫でした。またお客様の反応もよく、グー

フォかわちの宣伝や地域との交流に参加できたこと、大変良かったと思います。次回も資金作り活動として取り組んで参りたいと思っております。

次に、本年度事業計画は「生の声」を活用し企画をして行きたいと思っております。将来(二〜五年以内)の希望は、やはりグループホーム、ケアホーム、ショートステイの充実を図り、利用者、保護者が将来安心して生活できる基盤づくりが必要と考えております。アンケート提案に従い、色々な状況を踏まえながら、知識を高め、行かなければならないと思っております。

今後これに付随した企画を計画して参りますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に皆様の益々のご繁栄とご多幸をお祈りいたします。

編集後記

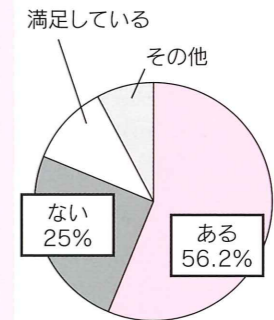
世の中が不況になってくると「龍馬」がはやるといってことでもないのですが、今年の大河ドラマ「龍馬伝」が話題になっています。個人的には土佐弁のイントネーションにやや違和感を抱きながらもつい毎週見えています。「坂本龍馬」という人は日本人が一番好きな歴史上の人物だということですが、一体、彼の何が特別なのだろうかと考えます。それはおそろしく既成概念にとらわれず、大きな視点で物を見る彼の生き方や考え方なのではないでしょうか。江戸末期とはいえまだ封建制度の渦中であって、藩や身分制度などにとらわれず、日本全体を見ようとした彼のスケールに私たちは引き付けられるのではないかと思います。私たちは毎日の小さなことについて不平や不満をもったり、くよくよしたりすることが多いですが、龍馬に言わせたら「こんまい事にくよくよしてたち、いかんぜよ!」といわれてしまうかもしれません。龍馬のようなヒーローの出現を期待するより、自分の中で龍馬的な発想を育てることを夢見て、しばらくドラマを見てみようかと思っています。



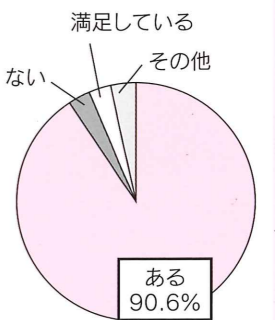
(三谷)

(アンケート結果より抜粋)

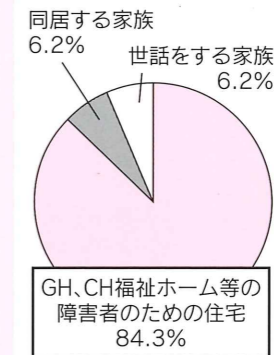
■現在の不安は?



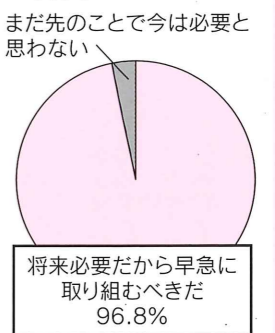
■将来の不安は?



■不安な内容



■GH、CH等の計画について



注:GH(グループホーム)、CH(ケアホーム)

お知らせ

- 健康診断……………2月 2日(火)
- 調理実習……………2月23日(火)
- 年度まとめの会……………3月25日(木)

各 授 産 報 告

パン

2009年はパングループにとってなかなか忙しい1年でした。新たに市役所、岡本特別支援学校、宇都宮病院での販売が始まりました。また、宇都宮病院では月に2回、給食のパンも納品しています。グーフォ内ではベーグルのウィンナー巻きも試作販売中です。また、一昨年の第1回グーフォ祭でのパン販売があっという間に完売してしまったので、焼きたても含めて、600個以上製造し、見事完売しました!!

グーフォのパンがここまで皆さんに親しまれていることと、利用者さんたちのがんばりにただただ驚いています。12月はシュトーレンが大人気でした。2010年ももっとグーフォのパンがたくさんの人に愛されるよう頑張っていきます。

園芸

農園芸グループは冬の寒さに負けず、元気に作業に取り組んでいるので毎日、熱気にあふれています。21年度後半の取り組みとして、10月に行われたグーフォ祭では、畑で育てたねぎ、八つ頭、芋がらを販売し、地域の方から好評を得て、見事に完売することができました。11月には地元にある白澤病院と宇都宮市のユニオン通り商店街で、お花(パンジー・ピオラ)のプランター植え替え作業を行いました。地域でのお花の手入れは利用者さんそれぞれも責任感を持って取り組むことができるようになってきました。また、地域の方への挨拶も笑顔で元気にできるようになってきました。今後は春の花、野菜作りに向けて、メンバー全員で力を合わせて、たくさんの笑顔と収穫が見られるように取り組んでいきたいと思ひます。

受注

景気後退の影響もあり、受注作業にも昨年と比べて影響が出ています。しかし、作業の受注量が減ったからこそできることもあります。利用者個々のスキルアップを目指して、これまでやったことの無い新たな工程への挑戦・練習やこれまで職員が行っていた工程への利用者の参加等です。例えば、大きな材料から注文のサイズに切り出す「エアキャップやミラマットの切り出し」や田植え機に使われる「木材スタンド」は木材にプレートをビス止める作業が職員より上手にできる様になった方もいます。利用者の日々の変化や成長に頼もしく思いながら作業に取り組んでいます。

昨夏からはじめた「Tシャツプリント」は保護者の方のご協力を得ながら行っています。今後も地域行事や学校等での需要の開拓や宣伝をしていきたいと思っています。オリジナルの絵柄でのTシャツが1枚1300円。名前を入れて1枚からでも作成できますので、お気軽にご相談ください。

織物

織物グループは日頃より製品作りで多くの保護者の皆様にご協力をいただき、昨年はブローチやマンボウのマスコット、裏地つきのコースターなどの小物を中心に新作をだすことができました。販売の場も広がり、県や市のイベント記念品にも初めて出品しました。また宇都宮市役所内のわくわくショップでは男女とわずご好評をいただき、お客様からのご注文が入ることもありました。織り機も一台導入し、製品作りや販売にも夢が膨らみつつあります。忙しい日々ですが、利用者さんは力を合わせてリズムカナルな音を立てながら楽しく織っています。今年も、手織りの温かい風合いや鮮やかな色彩を皆様にお届けできるよう、素敵な作品を目指していきたいと思ひます。

新鮮で安心な野菜作り

農園芸 寺田陽子職員へのインタビュー

今回は農園芸グループで主に園芸の畑で低農薬の野菜作りに取り組んでいる寺田職員にインタビューしました。

Q 東京のご出身とのことですが、ご自身の園芸とはどのような関わりをもたれたのですか?

A 本家に家庭菜園のレベルです。子供たちが野菜嫌いだだったので、安全でおいしい新鮮野菜を食わせたいと四年ほど前から家の近くに畑を借りて野菜作り始めました。幸い近所にご指導くださった方がいて、土好きの私はとても楽しく畑作りをやってきました。

Q はじめてグーフォの畑に出たときの印象はどのような感じでしたか?

A もつ三年目ということだったので、もつと出来上がっているところに入るともつりだつたのですが、まだ未知数の部分も多く、やっぱり農園芸は難しいのだと感じました。

Q 今後はどのようなことを重点に取り組んでいこうかと?

A 作業の環境として行うのですから、皆さんができることを中心に、時には失敗しながらも取り組んでいます。そして、作った野菜を皆さんと食へることの中から作る喜びを実感してほしいと思っています。施設の給食に使っていたとき、グーフォの皆さんに食へていただけると農園芸のメンバーにはとても張り合ひになるようです。そのためには、作り易い野菜を、土との相性を考えながら選び、年間の計画を立てて無駄なく畑を使えるように考えています。そして一番注意しているのは安全な低農薬の野菜作りという点です。

Q これから、農園芸グループではどのようなことに取り組んでいきたいと思いますか?

A もちろんこれからも農薬は必要最小限にとどめ、自然のものを使用して害虫駆除を行っていくつもりです。その上で、この畑の土の相性の良い野菜や畑の使い方の工夫などもさらに勉強していかなくてはならないと思っています。また、年間を通して売り上げを確保していただくために、保存食作りとして切干、大根や、芋がらなどももつと作っていきたく思ひます。また利用者さんの作業部分でも、いかにできることがかえてきているので、鎌の使い方や耕運機の使い方などを安全面に配慮しながら少しずつ取り組んでいけたらいいなあと思っています。そして皆さんの笑顔が増える食材を作り、作る喜びを共に感じていきたいと思います。

シンガーソングライター Miifyさん CD全国発売と同時に栃木県で初ライブ!!



今回のアトラクションでは「和太鼓キッズゆりかご」の勇壮な和太鼓の演奏や宇都宮短期大学のダンスサークル「UST」の若さ溢れる爽やかなダンスにドキドキしました。グーフォかわちのメンバーもフラダンスの披露を行いました。メインゲストには歌手の「Miify」さん。ピアノストダンサーさんなど総勢十三名で千葉から来て頂き、手話とダンスを交えた歌や、この日、全国発売となった「涙の温度」の披露もあり、アーティストの生の歌に癒されました。握手やサイン会もして頂き、感激でした。

模擬店では今回も保護者会の皆様にご協力を頂き、手作りの味に舌鼓をうちました。授産品販売では、さりを織り製品無農薬野菜、焼き立てパンの他、オリジナルTシャツの実演販売も行い好評を得ました。その他、施設紹介スライド上映、全員でのピンコ大会等で盛りあがりました。今年も多くの皆様のご協力を得て、楽しい一日となりました。ご厚く御礼申し上げます。



第二回 グーフォ祭 盛大に開催!

十月十七日(土)、第二回グーフォ祭が澄み渡る空の下、地域の方々、施設関係者、ボランティアの皆さんを合わせて四〇〇名以上の来場者を数え、盛大に開催されました。

グーフォの行事 アラカルト

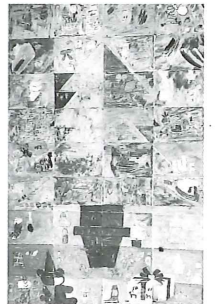
青空の下 スポーツ大会開催

九月二十七日(日)、第五回栃木県障害者スポーツ大会が行われました。本番に向けて今年は一回しか練習ができませんでしたが、厳しい練習を経て本番に臨みました。当日は五メートル走、ソフトボール投げ、フライングディスクに分かれて熱い思いを胸に参加しました。その甲斐があり、五十メートル走(高塩さん)、ソフトボール投げ(磯町さん、小森佳昌さん・渡邊さん)、フライングディスク(大森さん、諸橋さん、水泳(加藤さん)は健闘して見事にメダルを獲得し、みんな沢山の笑顔で喜び合っている様子でした。そして来年こそはと、今後の健闘を誓い合っている方たちもいました。体を動かしても清々しい一日でした。



宇都宮ふれあい文化祭 東コミュニティセンターで楽しく開催!

九月十九日(土)、宇都宮市のふれあい文化祭が行われ、舞台発表、授産品販売、作品展、施設紹介のコーナーに参加しました。舞台発表では昨年同様全員での元気な合唱に加え、フラダンスも楽しく披露されました。また授産品販売ではパンはいち早く完売し、さをり織りの小物もとてもかわいいと好評でした。今年度は作品展を見に来てくださいとお客さんに投票していただき、各セッション毎に上位三位までを選び、宇都宮市役所に三週間ほど展示するという特別な試みがありました。グーフォかわちの絵画も色の綺麗な力作ぞろいで、その中から三点選ばれ、宇都宮市役所のわくわくショップ付近に展示されました。



▲ 36枚の画用紙に皆で描いたクリスマスツリー

皆が大好き! もっちりクリスマス会

一年最後の行事であるもっちりクリスマス会が十二月二十四日に行われました。青空の下でヨイショの掛け声に合わせてついたお餅は保護者の皆さんが美味しくあんこ餅からみ餅・黄な粉餅にしてくださいました。その味は格別美味しく、良い年の瀬を迎えることができました。

美味しいお餅を食べて満腹になった午後は、日頃お世話になっているボランティアの方をお迎えしてのクリスマス会。ボール送りや缶釣りのゲームで楽しみ、皆で作ったケーキをほおばった後は、サンタクロースが登場し、各自で用意したプレゼントの交換でフィナーレを迎えることこの日一番の興奮と笑顔が会場に溢れました。

